

# 2009年度 第2四半期決算説明会

## 株式会社フジクラ

取締役社長 長浜 洋一

2009年11月2日

# 内 容

---

- 2009年度上期 連結決算概要
- 2009年度上期 セグメント別情報
- 設備投資と減価償却費の推移
- 2009年度下期 予想について
- 2009年度通期 業績見通し

注記:本プレゼン資料は、将来に関する見通し、計画に基づいた将来予測が含まれていません。09年度を含む先の年度の売上・利益等については、直近状況を折り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

注記:第2四半期累計を上期と表記します

# 2009年度上期 連結決算のポイント

経済規模は危機前の7~8割だが、発生費用の削減を行い、当期利益の黒字化を達成

- 売上高:2,415億円 前年同期比 883億円(▲ 27%)の減収
- 営業利益:91億円 前年同期比 23億円(▲ 20%)の減益
- 営業利益率: 3.8% (08年度上期 3.5%)
- 当期利益:39億円 前年同期比 7億円(▲15%)の減益
- 一株当たり中間配当金: 2.5円 (前年同期 5.0円)

# 2009年度上期 連結決算概要

(億円)

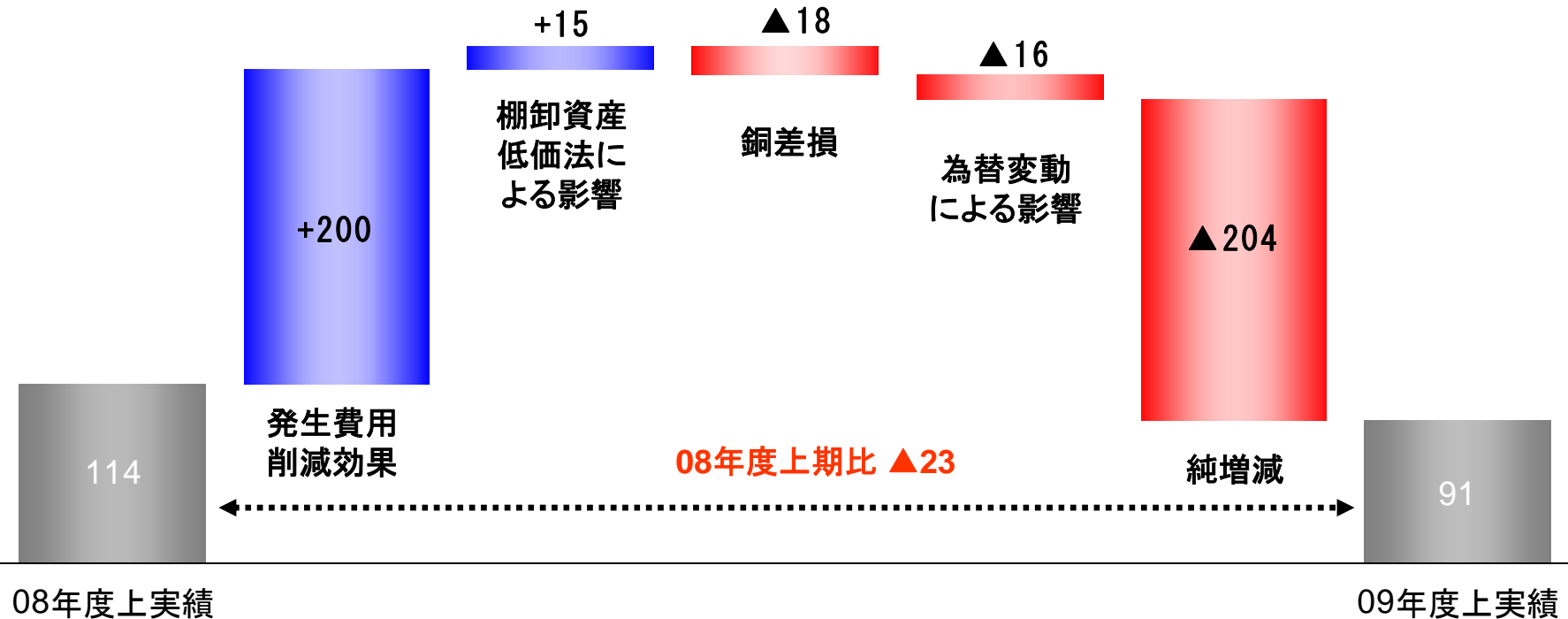
	08年度上期	08年度下期	09年度上期 (前回予想)	09年度上期 (実績)	前年同期比 増減率	前回予想比 増減率
売上高	3,298	2,437	2,350	2,415	▲ 27%	+3%
営業利益	114	▲112	30	91	▲ 20%	+203%
営業利益率(%)	3.5%	▲4.6%	1.3%	3.8%	-	-
持分法投資損益	8	▲2	10	17	+113%	+70%
経常利益	114	▲149	10	88	▲23%	+780%
当期純利益	46	▲236	▲ 8	39	▲ 15%	-
1株当り当期純利益(円)	12.80	▲ 65.54	▲ 2.21	10.84	▲ 15%	-
1株当り中間配当(円)	5.00	2.50	2.50	2.50	▲ 50%	0%
為替レート(円/USD) 【平均レート】	106.13	94.96	95.00	95.54	▲ 10%	+1%
銅ベース(建値) (千円/トン) 【期中平均】	907	408	507	549	▲ 39%	+8%

# 営業利益の増減要因 (前年同期比)

発生費用の削減により売上高の減少の影響をカバーするも、銅差損、円高により営業利益は減少

(億円)

営業利益



# セグメント別売上構成(2009年度上期)

## ケーブル・機器関連事業

- 電力ケーブル・部品
- 産業用電線・エコ電線
- 通信メタルケーブル



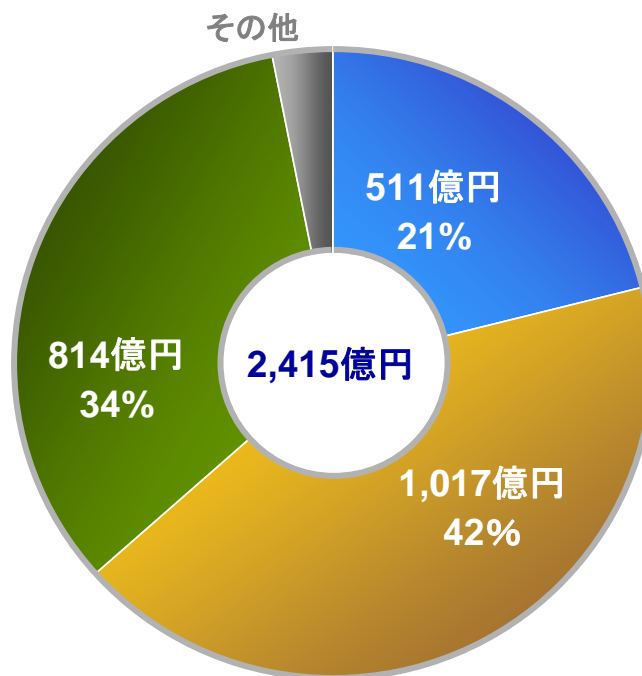
OPGW



エレベーター  
ケーブル



同軸ケーブル



## 情報通信事業

- 光ファイバ・光ファイバケーブル
- 光融着接続器・光部品
- エンジニアリング



光ケーブル



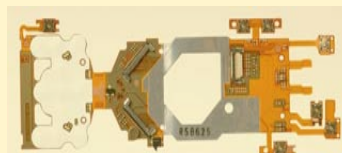
光融着接続器



光コネクタ

## 電子電装事業

- プリント 配線板(FPC)
- コネクタ
- 自動車用ワイヤハーネス
- メンブレンスイッチ
- 電子ワイヤ
- サーマル製品



プリント配線板 (FPC)



自動車用  
ワイヤハーネス

# セグメント別概況(2009年度上期)

- 当上半期の経済規模は危機前の7~8割
- 全体では需要が予想以上に回復し、発生費用の削減も進み、営業利益は前回予想を大幅に上回った
- 情報通信は、国内FTTH向光ケーブル、NGN関連製品の好調、外需向光ファイバ素線と中国向光ファイバ母材の旺盛な需要などに、発生費用削減効果も加わり営業利益は前回予想を上回った
- 電子は、FPCやコネクタがスマートフォンの好調に支えられ、また他品種の採算の改善も進み、営業利益は前回予想に比べ大幅改善
- 自動車電装は、中国自動車市場の好調が続き、採算改善が進んだ
- ケーブル・機器関連は国内建築需要が冷えこんだが、OPGWが好調に推移したことに加え、銅価の上昇による銅差損の縮小、発生費用の削減により黒字化

# セグメント別連結決算概要

(億円)

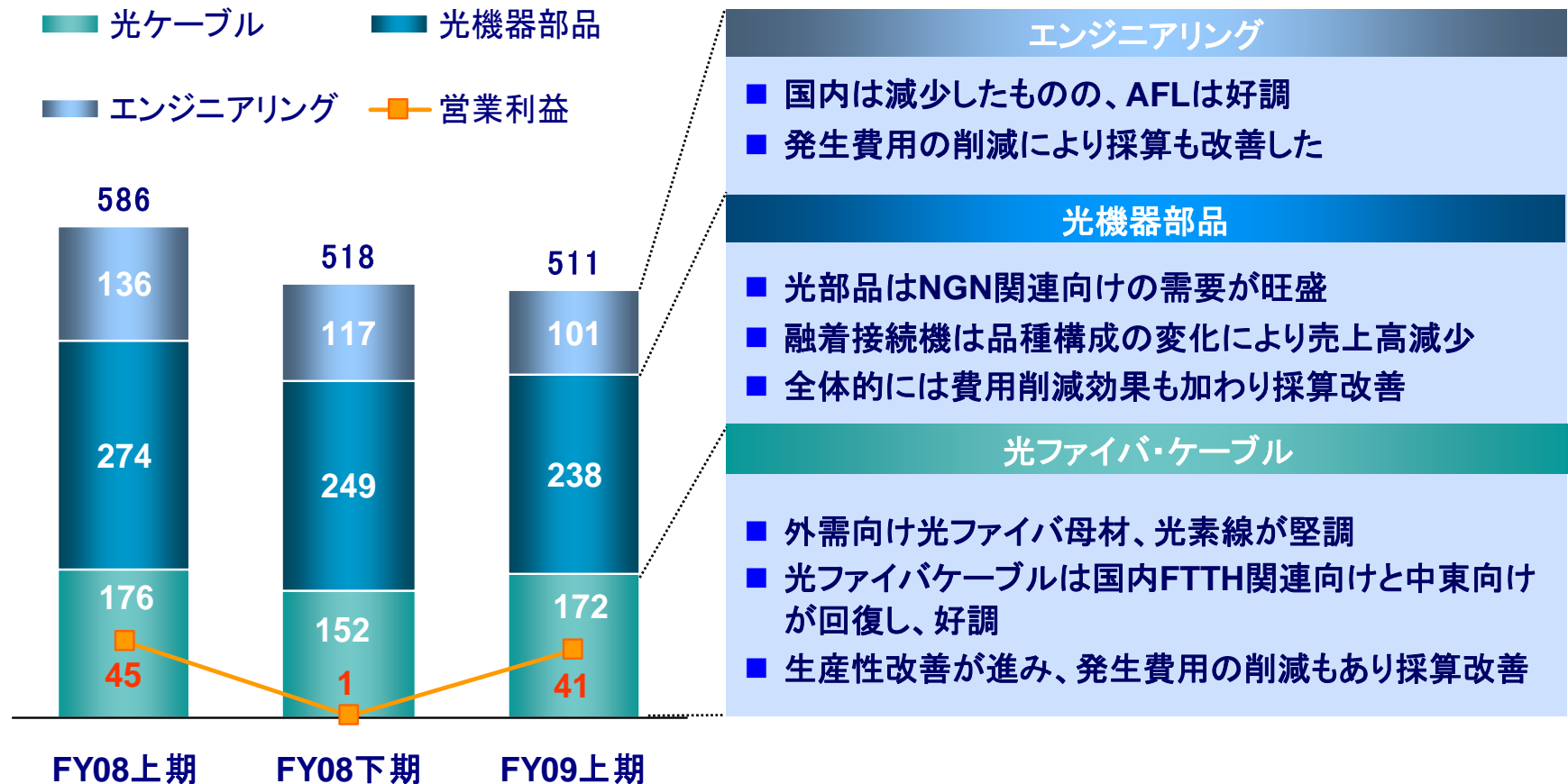
		08年度上期	08年度下期	09年度上期 (前回予想)	09年度上期 (実績)	前年同期比 増減率	前回予想比 増減率
売上高	情報通信	586	518	510	511	▲ 13%	+0%
	電子電装	1,323	907	980	1,017	▲ 23%	+4%
	ケーブル・機器関連	1,320	958	800	814	▲ 38%	+2%
	その他	69	55	60	74	+7%	+23%
	計	3,298	2,437	2,350	2,415	▲ 27%	+3%
営業利益	情報通信	45	1	32	41	▲ 9%	+28%
	電子電装	22	▲ 55	▲ 12	19	▲ 14%	-
	ケーブル・機器関連	29	▲ 73	▲ 8	10	▲ 66%	-
	その他	18	15	18	22	+22%	+22%
	計	114	▲ 112	30	91	▲ 20%	+203%

# 情報通信セグメント (FY08下-FY09上対比)

国内FTTH関連向け光ファイバケーブル、外需向け光ファイバ素線や母材の出荷増。発生費用の削減により採算改善

(億円)

## 売上高と営業利益の推移

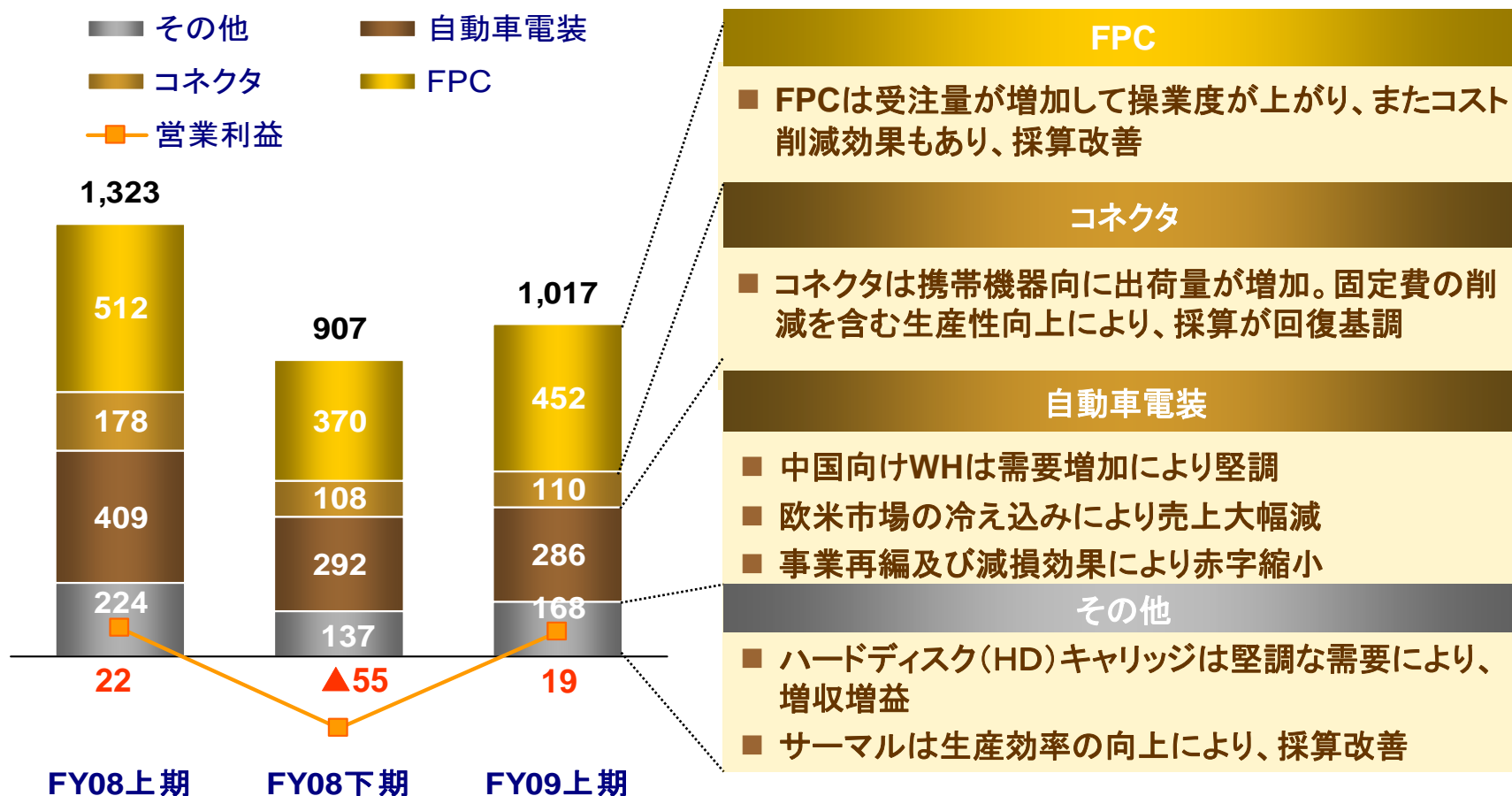


# 電子電装セグメント (FY08下-FY09上対比)

FPC等の需要が回復、さらに発生費用の徹底した削減により、営業利益改善

(億円)

## 売上高と営業利益の推移

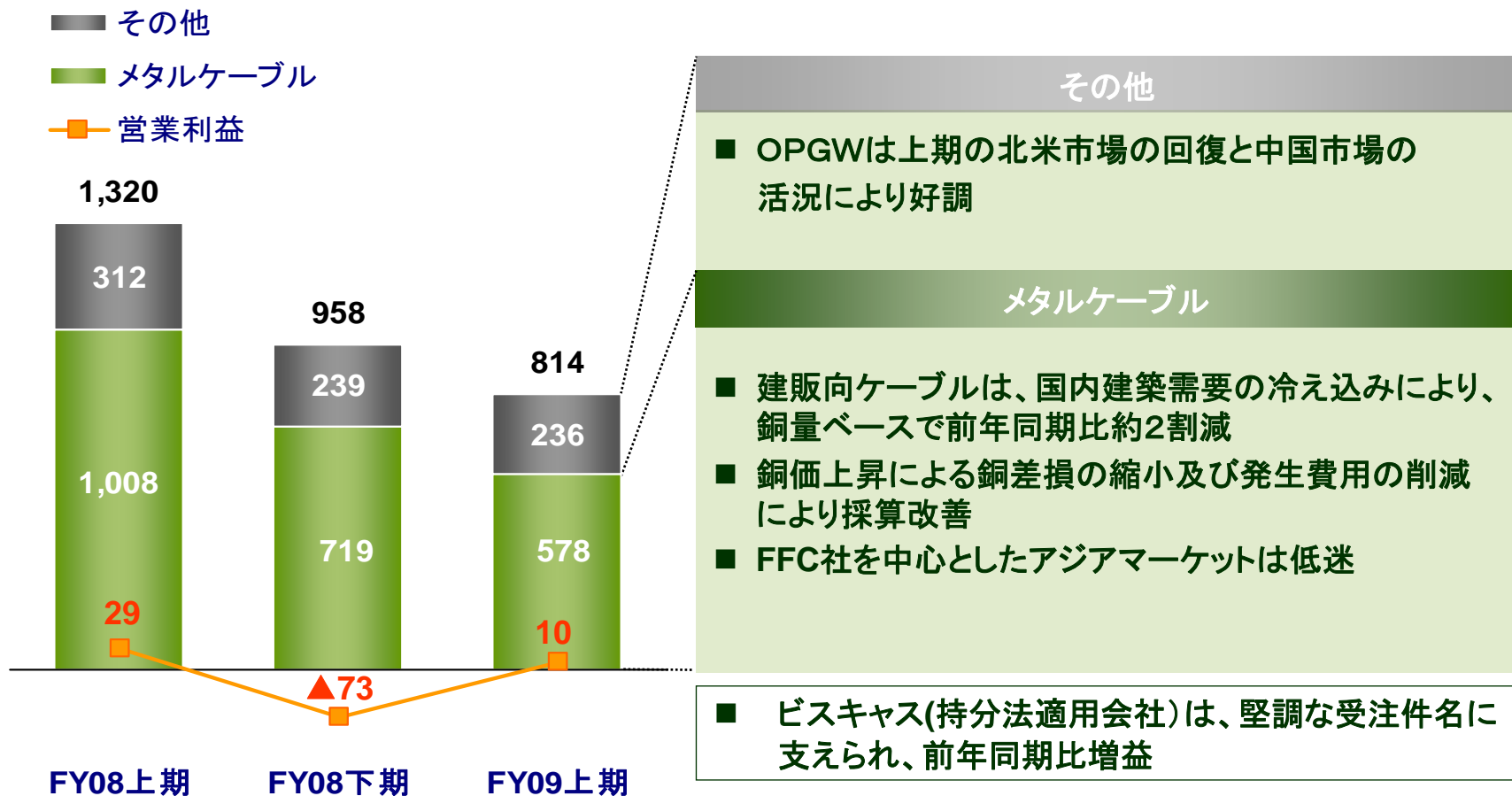


# ケーブル・機器関連セグメント (FY08下-FY09上対比)

OPGWは好調だったが、建築需要の低迷により売上高は減少。銅差損の縮小と発生費用削減により営業黒字化

(億円)

## 売上高と営業利益の推移

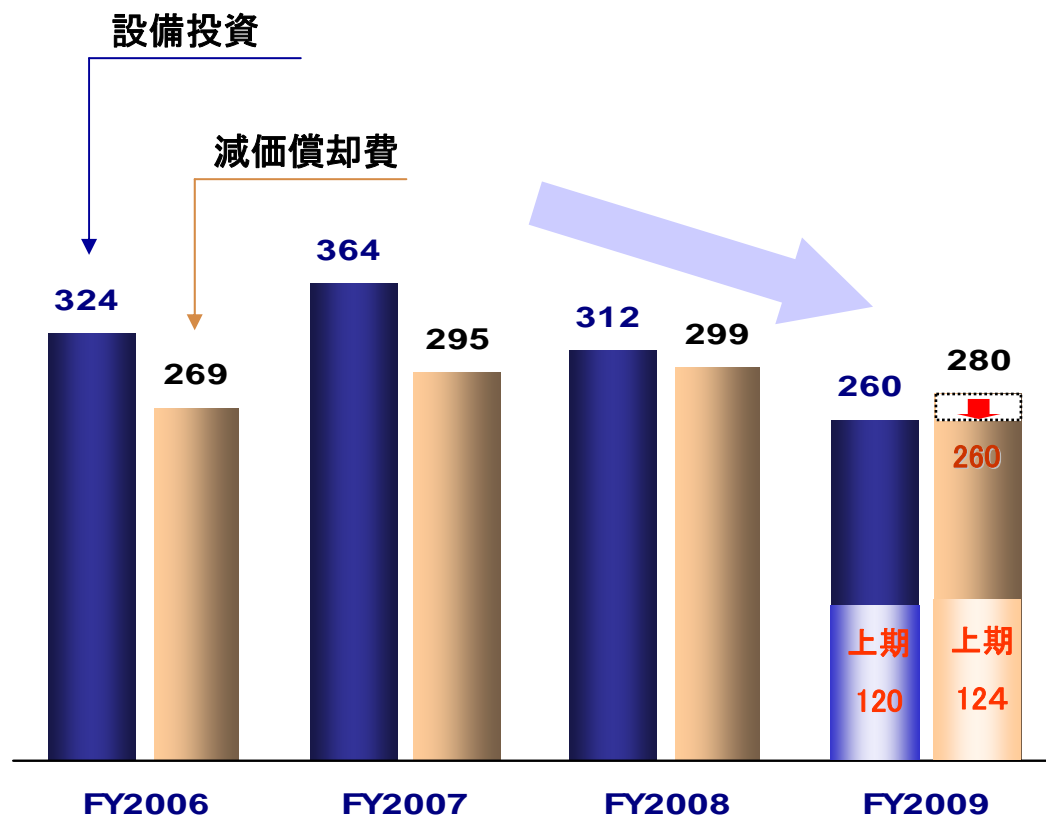


# 設備投資と減価償却の推移

設備投資は合理化と効率化投資を中心とし、減価償却費の範囲内とする

(億円)

## 設備投資と減価償却費



## 設備投資計画について

- 合理化、効率化を中心とし、新商品対応も進める
- 深川再開発
- 中国光ファイバ母材合弁会社の立ち上げ



# 2009年度下期計画について

## ■下期の経済環境

- 経済環境は厳しくかつ不透明
- 経済規模も危機前の7~8
- 割が継続
- 各国経済刺激策効果の息切れ
- ドル安、ユーロ安で円高基調
- 世界経済の2番底の懸念消えず

## ■下期に向けて

- 7~8割経済に対応できる門構えの構築
- 発生費用の抑制を継続
- "Focus & Deep" ( "選択と集中" ) をさらに進める
- 新商品・新マーケットの開発

# 09年度下期に向けたセグメント別の主な取り組み

”Focus & Deep“をさらに進め、“ものづくり力”の強化を強力に推進する

## 情報通信部門

- 円高耐久力の強化
  - －生産性の向上、海外調達、需要地生産
- 中国での光ファイバ母材合弁会社の円滑な立ち上げ
- 非通信事業の展開加速

## 電子電装部門

- ビッグ・タイププロジェクトの円滑な立ち上げ
  - －タイ現地法人8社を再編統合し、新たにFujikura Electronics (Thailand) Ltd. としてスタート(2010年4月1日より)
- 自動化と品質改善の推進による“ものづくり力”の強化
- マーケットに合わせた門構えの構築
  - －グローバル拠点の再編・統合による採算改善

## ケーブル・機器 関連部門

- コスト競争力のさらなる強化
- OPGWマーケットでの世界製造販売体制の構築と展開
- 環境・エネルギー関連事業の推進

# 2009年度下期 連結決算(予想)

(億円)

	08年度下期	09年度上期 (実績)	09年度下期 (今回修正予想)	前年同期比 増減率	上期比 増減率
売上高	2,437	2,415	2,385	▲ 2%	▲ 1%
営業利益	▲ 112	91	49	—	▲ 46%
営業利益率(%)	▲ 4.6%	3.8%	2.1%	—	—
持分法投資損益	▲ 2	17	3	—	▲ 82%
経常利益	▲ 149	88	37	—	▲ 58%
当期純利益	▲ 236	39	1	—	▲ 97%
1株当り当期純利益(円)	▲ 65.54	10.84	—	—	—
1株当り中間配当(円)	2.50	2.50	2.50	0%	0%
為替レート(円/USD)【平均レート】	94.96	95.54	90.00	▲ 5%	▲ 6%
銅ベース(建値) (千円/トン)【期中平均】	408	549	500	+23%	▲ 9%

# 下期セグメント別連結決算(予想)

(億円)

		08年度下期	09年度上期 (実績)	09年度下期 (今回修正予想)	前年同期比 増減率	上期比 増減率
売上高	情報通信	518	511	532	+3%	+4%
	電子電装	907	1,017	924	+2%	▲ 9%
	ケーブル・機器関連	958	814	859	▲ 10%	+6%
	その他	55	74	70	+27%	▲ 5%
	計	2,437	2,415	2,385	▲ 2%	▲ 1%
営業利益	情報通信	1	41	17	-	▲ 59%
	電子電装	▲ 55	19	3	-	▲ 84%
	ケーブル・機器関連	▲ 73	10	10	-	0%
	その他	15	22	18	+20%	▲ 18%
	計	▲ 112	91	49	-	▲ 47%

# 2009年度通期 業績見通し

世界的な実体経済は不透明だが、上期の上振れにより通期も上方修正

(億円)

	08年度	09年度 (前回予想) [5月11日]	09年度 (今回修正予想)		前年比 増減率	前回予想比 増減率
売上高	5,736	4,600	4,800		▲ 16%	+4%
営業利益	2	30	140		-	+367%
営業利益率(%)	0.0%	0.7%	2.9%		-	-
持分法投資損益	5	18	20		+300%	+11%
経常利益	▲ 35	0	125		-	-
当期純利益	▲ 190	▲ 40	40		-	-
1株当り当期純利益(円)	▲ 52.74	▲ 11.09	11.09		-	-
1株当り配当(円)	7.50	5.00	5.00		▲ 33%	0%
			[上期実績]	[下期予想]		
為替レート(円/USD)【平均レート】	100.71	95.00	95.54	90.00	▲ 11%	▲ 5%
銅ベース(建値) (千円/トン)【期中平均】	657	450	549	500	▲ 24%	+11%

# 2009年度通期 業績見通し(セグメント別)

(億円)

		08年度	09年度 (前回予想) [5月11日]	09年度 (今回修正予想)	前年比 増減率	前回予想比 増減率
売上高	情報通信	1,104	1,067	1,043	▲ 6%	▲ 2%
	電子電装	2,230	1,751	1,940	▲ 13%	+11%
	ケーブル・機器関連	2,278	1,677	1,672	▲ 27%	+0%
	その他	124	105	144	+16%	+37%
	計	5,736	4,600	4,800	▲ 16%	+4%
営業利益	情報通信	46	32	58	+26%	+81%
	電子電装	▲ 33	▲ 23	22	-	-
	ケーブル・機器関連	▲ 44	▲ 11	20	-	-
	その他	33	32	40	+21%	+25%
	計	2	30	140	-	+367%



【お問い合わせ先】

(株)フジクラ コーポレート企画部

広報グループ

TEL:+81 3 5606 1112

FAX:+81 3 5606 1539

E-mail:[wwwadmin@fujikura.co.jp](mailto:wwwadmin@fujikura.co.jp)